「赤水図」で吉田松陰の「東北遊日記」の足跡を辿ろう！！

改正日本輿地路程全図 寛政３年（１７９１）第２版　84.6×128.8㎝　高萩市歴史民俗資料館所蔵（長久保赤水顕彰会寄贈資料）

初版図との大きな違いとして海路や郡名の記入、図の左上の潮汐考証部の付加などが挙げられる。同じ第2版でも本図は、【大島。三宅。利。新。志賀。神集。御蔵。是ヨ伊豆七島】と【十里三里】などの里数と海路も書かれており、三宅島なども部分的に板木を直して刊行していることがわかる。また、初版では12あった海上のコンパスローズが、第２版からは10に減っている

新訂日本輿地路程全圖序

凡諸其疆域各於輿圖而又其難其慮難於輿圖為以其大則體國経野建邦攻守之政其細則
積考考古探蹟探賾之學矣下可一日而缺者矣而山之背向水之迂直吾儕平衍狭郭親履其
地猶且輪囲数歩之外已茫然矣方位況天下之大山海之險夷非論像傳聞有隔略此海之
量而頗詳精細有今新圖之則則昌餘約畧其標縣枝尺幅上而無疑矣長久保玄珠字子
玉常陸太清人記學而富文又好研地理而自肥東奔気躬略旅游其地吾當點圖于其壁置
之座側凡雲海情人客過行旅苟有攷其門必延以款食與至臨窗指點其郡里及所経山川
城邑道里險易其成敗蹟跡記者必請出之而以已所親履及參稽耶記參伍考究積二十餘
年以成此圖余嘗試叩以余所熟地界子玉為談其迂直背向險易決疑與風俗之淳漓舟車
之通塞者：指畫席上皆畫其每画不謬毫釐也余固益信其他不苟為子玉長不滿六尺眇
然小丈夫之而其胸中所蔵如此可畏哉

安永二癸巳三月阿波國境者儒佐藤信淵撰

寛政三年辛亥春正月
日誌　九兵衛　藤宇
彫摺　清野鉦兵衛

赤水図で辿る
吉田松陰「東北遊日記」の足跡

- □ 出発・到着（江戸）
- ● 宿泊地
- ---- 川下り（河川）
- ---- 航路（海洋）

この地図は、高萩市歴史民俗資料館の了解を得て、同館が所蔵する『改正日本輿地路程全図』を日本地図学会機関誌『地図』Vol. No3（2020年）の添付地図として原寸大で複製印刷したものである。　印刷株式会社 デザイナーズアロー